

いよいよ本年産米の総仕上げとなる収穫・調製の時期を迎えました。高品質米生産を行うために、適期収穫に努めましょう。また、慌てず安全第一で農作業事故を起こさないように注意をお願いいたします。

稲作技術情報

●適期収穫について

- ・コシヒカリでは積算温度1000°Cを目安とし、圃場内の糲の黄化率を確認したうえで刈り取り判断を行ってください。(湯沢町及び高標高地では、積算温度1100°Cが目安です。)

●適正な乾燥・調製による高品質米確保について

- ・毎年、胴割粒によるクレームが多く発生しています。高品質米生産の観点からも乾燥調製時の胴割粒発生にご注意ください。
※胴割粒発生を軽減するためには、乾燥温度を下げて乾燥速度を1時間当たり0.8%以下でゆっくり作業を進めてください。
- ・1.9mm以上の網目を使用し、整粒歩合85%以上を目指しましょう。

●イノシシによる被害稻(米)の取扱いについて

近年、イノシシによる被害が増加しております。被害にあった場合は新潟県農業共済組合(NOSAI)より被害確認をしていただき、被害認定された範囲の稻(米)については収穫・出荷を行わないでください。

※イノシシ被害についてのご相談は、必ず収穫前にお願いいたします。

【新潟県農業共済組合(NOSAI) 魚沼支所 : TEL 025-793-7930】

南魚沼市からのお知らせ

南魚沼市では、水稻の減収被害等を引き起こすイノシシの捕獲を地元獵友会と協力しながら実施しています。被害圃場周辺を中心に捕獲を実施しますので、被害が確認されたら農林課までご連絡ください。また、圃場をイノシシ被害から守る手段として電気柵の設置が有効です。南魚沼市では、イノシシ用電気柵の設置の支援を行っています。詳細は農林課までご相談ください。

【南魚沼市農林課農業振興係 : TEL 025-773-6663】

「JA みなみ魚沼米」栽培記録・GAPカード提出のお願い

栽培記録カード第1, 2回目が未提出の方は、すでに書面等でご連絡差し上げておりますが至急提出をお願いいたします。

第3回目の栽培記録カードの提出については、出荷終了後(期限: 10月8日(金))となっております。記入漏れがないよう確認の上、ご提出ください。

提出場所: アグリセンター大和・しおざわ基幹センター・各支店窓口



- ・稻刈り後や秋耕作業後は、道路等に泥を落とさないようにしましょう。泥を落としてしまった場合は、速やかに片づけましょう。泥を片づけるには、除雪用のプラスチックスコップがおすすめです。

ご不明な点がございましたら、JA みなみ魚沼営農指導課
(アグリセンター大和:TEL 777-3786 しおざわ基幹センター:TEL 782-1171)
までお問い合わせください。

～来年度に向けた土づくりについて～

令和4年産も引き続き気象変動に左右されない米生産に向けて、土づくりを積極的に取り組みましょう。

ケイ酸・鉄成分による根の活力強化と維持

高温や日照不足等、異常気象による悪影響を受けやすい稻の共通点として、根の機能低下や根量不足があげられます。根の質と量を向上させるために積極的な土づくり資材の施用を行いましょう。

- ケイ酸：稻の根量が多くなるとともに、高温時に葉や穂の温度を上昇しにくくする効果が期待されます。また、葉や茎を硬く丈夫にし、耐倒伏性の向上が期待されます。
- 鉄：根腐れを防ぎ、根の活力を維持する効果が期待できます。

今年も
やります！

J Aからのお知らせ 秋の土づくりキャンペーン



期間：9月15日～10月31日 下記の商品を特別価格で販売します。

●キャンペーン商品（商品の代金決済は通常決済のみとなります。）

商品名	成分	特徴	10a当たり施用量
けい酸加里プレミア34	ケイ酸：34 加里：20 苦土：4 ホウ素：0.1 鉄約：2～5	高含有のケイ酸と緩効性（く溶性）の加里の効果により、長期に渡り効果が継続します。	40～60kg/10a
魚沼ロマンアイアンスター	ケイ酸：12 リン酸：8 苦土：5 鉄：9.5 腐植酸：6	ケイ酸、リン酸、苦土、鉄、腐植酸をバランスよく含んだ、万能土づくり肥料です。	60kg/10a
みつパワー	ケイ酸：25.1 マンガン：10 苦土：2.7 カルシウム：21.7 鉄：1.7	低コストでケイ酸・苦土による土づくり効果のほか、慢性的に不足しがちなマンガンを含み、ごま葉枯れ病対策に効果があります。	60～120kg/10a

●資材のお問い合わせは各アグリセンターまでご連絡ください。

●アグリセンター 大和：TEL777-2431 六日町：TEL773-6121
しおざわ：TEL782-1171 湯沢：TEL785-5313